

JSW Scar Scale 2015 (ケロイド・肥厚性瘢痕 分類・評価表)						
分類 (グレード判定、治療指針決定用)			評価 (治療効果判定、経過観察用)			
リスク因子			硬結			
1. 人種	黒色系人種	2	0:なし	1:軽度	2:中等度	3:高度
	その他	1				
	白色系人種	0	隆起 (図5参照)			
2. 家族性	あり	1	0:なし	1:軽度	2:中等度	3:高度
	なし	0				
3. 数	多発	2	瘢痕の赤さ (図6参照)			
	単発	0	0:なし	1:軽度	2:中等度	3:高度
4. 部位	前胸部, 肩-肩甲部, 恥骨上部	2				
	その他	0	周囲発赤浸潤 (図7参照)			
5. 発症年齢	0歳-30歳	2	0:なし	1:軽度	2:中等度	3:高度
	31歳-60歳	1				
	61歳-	0	自発痛・圧痛			
6. 原因	不明もしくは微細な傷 (ざ瘡や虫刺され)	3	0:なし	1:軽度	2:中等度	3:高度
	手術を含むある程度の大きさの傷	0				
現症			掻痒			
7. 大きさ (最大径×最小径cm <sup>2</sup> )	20cm <sup>2</sup> 以上	1	0:なし	1:軽度	2:中等度	3:高度
	20cm <sup>2</sup> 未満	0	合計 0点-18点			
8. 垂直増大傾向 (隆起)	あり	2	備考			
図1参照	なし	0	軽度 : 症状が面積の1/3以下にある、または症状が間欠的なもの			
9. 水平拡大傾向	あり	3	高度 : 症状がほぼ全体にある、または症状が持続するもの			
図2参照	なし	0	中等度 : 軽度でも高度でもないもの			
10. 形状	不整形あり	3				
図3参照	その他	0				
11. 周囲発赤浸潤	あり	2				
図4参照	なし	0				
12. 自覚症状 (疼痛・掻痒など)	常にあり	2				
	間欠的	1				
	なし	0				
合計 0点-25点						
参考						
0点-5点	正常瘢痕の性質 (治療抵抗性: 低リスク)					
6点-15点	肥厚性瘢痕の性質 (治療抵抗性: 中リスク)					
16点-25点	ケロイドの性質 (治療抵抗性: 高リスク)					

\* 判定は初診時に行う

(すでに治療が行われている場合、問診を参考にし、治療前の症状を可能な限り評価する)

\* 範囲の大きいものでは、症状が最も強い部分を評価する

\* 複数あるものでは、それぞれにつき、4-12を個別に評価する (1-3は共通)

小川令, 赤石諭史, 秋田定伯, 岡部圭介, 清水史明, 須永中, 土佐泰祥, 長尾宗朝, 村尾尚規, 山脇聖子; 瘢痕・ケロイド治療研究会 ケロイド・肥厚性瘢痕 分類・評価ワーキンググループ. JSW Scar Scale. Available online at: <http://www.scar-keloid.com/index.html>

図1 垂直増大傾向（隆起）



あり



なし

図2 水平拡大傾向



あり

なし

図3 形状



不整形あり



不整形なし

図4 周囲発赤浸潤



あり



なし

図5 隆起



高度



軽度



中等度



なし



図6 瘢痕の赤さ



高度



中等度



軽度



なし

図7 周囲発赤浸潤



高度



中等度



軽度



なし